

日本地質学会第120年学術大会 (2013 仙台大会) 講演プログラム (口頭)

■ 9月14日 (土) 午前

会場	第1会場 (B200)	第2会場 (C200)	会場4 (B203)
	R15. テクトニクス	R1. 深成岩・火山岩とマグマプロセス	T3. 砕屑性ジルコン年代学と日本列島・太平洋型造山帯
	座長：佐藤活志 (1-5), 大坪 誠 (6-11)	座長：高澤栄一 (1-5), 業田顕行 (6-9)	座長：磯崎行雄 (1, 3-6), 青木一勝 (2, 7-11)
9:00	<p>9:00 R15-O-1 瑞浪超深地層研究所用地およびその周辺に分布する断層の発達過程-断層岩の組織と鉱物組成からの検討- 窪島光志</p> <p>9:15 R15-O-2 活断層ではない断層破砕帯における元素分布の特徴：三重県大紀町の仏像構造線を例として. 大谷具幸・井桁駿輔・小嶋 智</p> <p>9:30 R15-O-3 低温領域の熱年代学に基づく養老-鈴鹿-布引山地の隆起・削剝史と近畿三角帯東縁のテクトニクス. 末岡 茂・山田国見・柴田健二・堤 浩之・田上高広・長谷部徳子・田村明弘・荒井章司</p> <p>9:45 R15-O-4 スリップデータを用いた岐阜県寺断層系の断層ダメージゾーンの応力解析. 藤内智士・大坪 誠</p> <p>10:00 R15-O-5 階層的にフラクタルな断層帯の進化と地震. 大槻憲四郎</p> <p>10:15 R15-O-6 ボーリングデータ解析に基づく北海道長沼低地の浅部地下地質構造と石狩低地帯東縁断層帯. 木村克己・康 義英・花鳥裕樹</p> <p>10:30 R15-O-7 東北日本の背弧中絶リフトの形成と短縮変形. 佐藤比呂志・石山達也・加藤直子・阿部 進・白石和也・斎藤秀雄・稲葉 充・石川正弘・武田哲也・松原 誠</p> <p>10:45 R15-O-8 双葉断層を横切る高分解能反射法地震探査. 加藤直子・佐藤比呂志・石山達也・越谷 信・照井匡子・東中基倫</p> <p>11:00 R15-O-9 北部フォッサマグナの浅部～深部構造. 石山達也・佐藤比呂志・加藤直子・白石和也・阿部 進・稲葉 充・蔵下英司・越谷 信・豊島剛志・小林健太・武田哲也・松原 誠・戸田 茂・川本友久</p> <p>11:15 R15-O-10 富士川河口断層帯～糸魚川-静岡構造線横断地下構造探査 [2012FIST] 報告-その1: 深部構造-. 伊藤谷生ほか16名</p> <p>11:30 R15-O-11 富士川河口断層帯～糸魚川-静岡構造線横断地下構造探査 [2012FIST] 報告-その2: 浅部構造-. 狩野謙一ほか12名</p>	<p>9:00 R1-O-1 西南北海道奥尻島, 米岡層火砕岩の岩石学的特徴. 久谷航平・山元正継</p> <p>9:15 R1-O-2 男鹿半島一の目湯・寒風火山に産する下部地殻ゼノリスの交代作用. 山元正継・西澤達治・業田顕行</p> <p>9:30 R1-O-3 北部フォッサマグナ, 聖山火山岩の供給源および美ヶ原-霧ヶ峰に産する火山岩類との同位体的関係. 笹沼貴弘・山元正継</p> <p>9:45 R1-O-4 荒倉山層火山岩類におけるマグマプロセスおよび 北部フォッサマグナ地域の同位体マッピング. 業田顕行・山元正継</p> <p>10:00 R1-O-5 海洋リソスフェア衝上に伴うマントル-流体反応プロセス: オマーンオフィオライト・サラヒマントルセクション基底かんらん岩の例. 野本有希・高澤栄一</p> <p>10:15 休憩</p> <p>10:30 R1-O-6 北部オマーンオフィオライトマントルセクションからみたマントル再溶融とボニナイト質メルト形成場の多様性. 高澤栄一・菅家奈未・野本有希・藤井 悟</p> <p>10:45 R1-O-7 逆累帯構造Opxを用いたマグマ形成場の推定: 香川県城山地域のHMA溶岩への応用. 森里文哉・小澤一仁・飯塚 毅・永原裕子</p> <p>11:00 R1-O-8 マグマ固化過程での揮発性成分挙動の指標としてのアパタイト: 納沙布岬貫入岩体への適用とその有用性. 久岡由実・飯塚 毅・高畑直人・小澤一仁・永原裕子・佐野有司</p> <p>11:15 R1-O-9 (招待) ★ 物質科学的アプローチから探究する地球の熱史. 小澤一仁</p>	<p>9:00 T3-O-1 LA-ICPMSによるジルコンU-Pb年代測定法の改善. 坂田周平・岩野英樹・檀原 徹・平田岳史</p> <p>9:15 T3-O-2 日本の起源と古生代南中国地塊の東方延長. 磯崎行雄・青木一勝・坂田周平・平田岳史</p> <p>9:30 T3-O-3 黒瀬川帯500 Ma “三滝花崗岩類”: LA-ICPMS による新たなU-Pb年代と失われたパソリス帯の復元. 青木一勝・磯崎行雄・小福田大輔・佐藤友彦・山本純之・坂田周平・平田岳史</p> <p>9:45 T3-O-4 砕屑性ジルコン・モナザイトの年代学による西南日本のテレーン解析とテクトニクス. 早坂康隆・木林和美・勝部亜矢</p> <p>10:00 T3-O-5 砕屑性ジルコン及びモナザイト年代から読み取る舞鶴帯・難波江層群の後背地の変遷. 堤 之恭・横山一己</p> <p>10:15 T3-O-6 美濃帯ジュラ紀砕屑岩中の砕屑性ジルコン年代頻度分布. 藤崎 渉・磯崎行雄・牧 賢志・坂田周平・平田岳史・丸山茂徳</p> <p>10:30 T3-O-7 四国、四万十帯北帯、横浪メランジュのジルコンU-Pb年代測定による同地域の年代構造の再考. 齋藤拓也・岡田吉弘・藤崎 渉・坂田周平・丸山茂徳・平田岳史</p> <p>10:45 T3-O-8 Zircon Nano-SIMS U-Pb dating from the country gneiss surrounding Horoman peridotite -age constraint for tectonic juxtaposition of peridotite body into granulite in Arc-Arc collision zone-. Suzuki Ryosuke・Okamoto Kazuaki・Yamamoto Hiroshi・Sano Yuji・Takahata Naoto</p> <p>11:00 T3-O-9 アルゼンチン・バタゴニア, セロ・パンパ地域直下の地殻発達史: 中期中新世アダカイトに混在する外来ジルコンのLA-ICPMS U-Pb年代からの制約. 折橋裕二・安間 了・元木昭寿・ハラウ ミジュール・平田大二・岩野英樹・角野浩史・ラモス ビクター</p> <p>11:15 T3-O-10 初期地球大陸地殻と大陸成長. 小宮 剛</p> <p>11:30 T3-O-11 砕屑性冥王代ジルコンから読む初期地球進化: アパタイト包有物とショックジルコン. 山本伸次・小宮 剛・坂田周平・平田岳史</p>

※講演番号は、シンポジウム (S), トピックセッション (T), レギュラーセッション (R) のそれぞれに、口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。太字は代表発表者です。 ★印は、ハイライトです、本誌 p. (11) を参照。

日本地質学会第 120 年学術大会 (2013 仙台大会) 講演プログラム (口頭)

■ 9 月 14 日 (土) 午後

会場	会場 1 (B200)	会場 2 (C200)	会場 3 (B201)
	R15. テクトニクス	R1. 深成岩・火山岩とマグマプロセス	R19. 環境地質
	座長：藤内智士 (12-16)	座長：長谷川 健 (10-13)	座長：川邊孝之 (1-5)
14:00	<p>14:00 R15-O-12 碎屑性ジルコンの年代分布から見た南部北上帯のシルル～前期白亜紀テクトニクス場の変遷。 大川泰幸・高地吉一・原田拓也・大藤 茂・下條将徳・山本鋼志・折橋裕二</p> <p>14:15 R15-O-13 飛騨帯と沃川帯の地質対比に基づく朝鮮半島周辺の 古生代後期～中生代テクトニックモデル。 高橋 浩・Cho Deung-Lyong・毛 建仁・勝部亜矢</p> <p>14:30 R15-O-14★ ネパールヒマラヤ東部のナップ前縁の主中央衝上断層帯にみられる延性および脆性変形。 佐藤活志・酒井治孝・河上哲生</p> <p>14:45 R15-O-15 ヒマラヤのナップ先端部の熱構造と冷却プロセス。 酒井治孝・平田岳史・岩野英樹・檀原 徹・折橋裕二・佐藤活志・河上哲生</p> <p>15:00 R15-O-16 ネパールヒマラヤの Ampipal 閃長岩は白亜紀のインド亜大陸の分裂に伴う深成岩体である：U-Pb 年代学からのアプローチ。 岩野英樹・酒井治孝・平田岳史・檀原 徹</p>	<p>14:00 R1-O-10 モンゴル西部、古生代火成岩類の活動史と形成場。 大和田正明・小山内康人・中野伸彦・足立達朗・吉本 紋・米村和紘・M. Satish-Kumar・Sereenen Jargalan・Boldbaatar Chimedteie</p> <p>14:15 R1-O-11 白亜紀鳳凰山花崗岩体の内部構造。 今岡照喜・中島和夫・亀井淳志・荻田康雄・井川寿之・板谷徹丸・加々美寛雄</p> <p>14:30 R1-O-12 阿武隈山地東縁の後期石炭紀および前期白亜紀アダカイト質花崗岩類の岩石化学。 土谷信高・佐々木 惇・足立佳子</p> <p>14:45 R1-O-13 (招待) ★ 日本の白亜紀－古第三紀花崗岩類の地帯特性、特に阿武隈帯と中部領家帯との比較。 石原舜三</p>	<p>14:00 R19-O-1 鉄鋼スラグ埋立地からの浸出水の影響を受けている河川の水質連続観測。 加藤晶子・堤 克裕</p> <p>14:15 R19-O-2★ 富士山地下水と富士五湖湖水の起源と循環システム特性の周辺科学への応用。 輿水達司</p> <p>14:30 R19-O-3 温泉化学組成からみた東北日本北部域における地すべり粘土の化学組成。 谷口敦行・箕浦幸治</p> <p>14:45 R19-O-4 北総地域における硝酸性窒素汚染の現状。 田村嘉之・岩井久美子・NPO 法人水環境研究所</p> <p>15:00 R19-O-5 環境地質から見た水質汚濁防止法の問題点。 上砂正一・楠田隆・笠原 豊</p>

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。太字は代表発表者です。 ※★印は、ハイライトです、本誌 p. (11) を参照。

■ 9 月 14 日 (土) 午前

会場	会場 7 (B104)	
	R10. 炭酸塩岩の起源と地球環境	
	座長：中澤 努 (1-4), 奥村知世 (5-9)	
9:00	9:30	R10-O-1 中国北東部江蘇省に分布する新新生代徐淮層群Zhaowei層に見られるストロマトライト組織と糸状体微化石 奥村知世 ・古山精史朗・狩野彰宏
	9:45	R10-O-2 貴州省北東部Wenghui地域におけるEdiacara系Doushantuo層の化学層序と古海洋学的研究 古山精史朗 ・狩野彰宏・杜佛・王 約
	10:00	R10-O-3 北中国山東省カンブリア系第三統張夏層中の微生物類礁の基本特性と背後の地球生物環境 足立奈津子 ・小谷綾香・江崎洋一・劉 建波
	10:15	R10-O-4 北中国山東省の張夏層(カンブリア系第三統)に分布する“サンゴ-海綿-微生物礁”の特徴と地球生物学的な意義 江崎洋一 ・足立奈津子・劉 建波
	10:30	R10-O-5 南部中国貴州省, 下部石炭系炭酸塩サクセッションにおける堆積サイクルの特徴とその意義 星木勇作 ・上野勝美・王 玥・祁 玉平・王 向東
	10:45	R10-O-6 秋吉帯石灰岩におけるオンコイドの産出層準と形態及び形成生物について 中澤 努 ・上野勝美・藤川将之
	11:00	R10-O-7 タイ国北部, Phrae北西に分布する三疊系Kang Pla層(Song層群)の有孔虫群集と堆積環境 宮東 照 ・上野勝美・Charoentitirat Thasinee・鎌田祥仁・Sardsud Apsorn
	11:15	R10-O-8 大分県・四浦半島の上部ジュラ系鳥巢式石灰岩から産出する厚歯二枚貝(ディセラス科)を含む礁性生物相 柿崎喜宏 ・古山精史朗・狩野彰宏
	11:30	R10-O-9 南大東島大東層の貯留岩性状と孔隙システム 島津 崇 ・八木正彦・松田博貴・橋本直明・水永泰介

■ MEMO ■

■ MEMO ■

日本地質学会第120年学術大会（2013 仙台大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月14日（土）午後

会場	会場4 (B203)	会場7 (B104)
	T1. 地質情報の利活用	R10. 炭酸塩岩の起源と地球環境
	座長：野々垣 進 (1-5)	座長：足立奈津子 (10-14)
14:00	14:00 T1-O-1 5万分の1地質図幅「早池峰山」の地域地質情報・資料の教育的利活用. 川村寿郎 ・内野隆之・今野 亨・大石雅之・吉田 充	14:00 R10-O-10 石灰岩中における希土類元素などの微量元素含有量の検討. 外山浩太郎 ・寺門靖高
	14:15 T1-O-2★ ウェブマップシステムを活用した第四紀火山岩体・貫入岩体データベースの情報発信. 内藤一樹 ・西来邦章	14:15 R10-O-11 岩手県内間木洞の石筍酸素同位体組成の変動要因と推定される過去2000年間の降水量変動. 加藤大和 ・山田 努
	14:30 T1-O-3 次世代20万分の1日本シームレス地質図の凡例構築. 斎藤 眞 ・西岡芳晴・宮崎一博・宝田晋治・水野清秀・尾崎正紀・中野 俊	14:30 R10-O-12 新潟県糸魚川市で採集した完新世石筍の酸素・炭素同位体比とMg/Ca比. 曾根知実 ・ 狩野彰宏 ・柏木健司
	14:45 T1-O-4 5万分の1シームレス地質図の作成と課題. 尾崎正紀	14:45 R10-O-13 鍾乳石に記録された表層環境変遷史の解読－沖縄県南大東島今村洞を例として－. 松田博貴 ・佐藤祐也・栗崎弘輔・吉村和久
	15:00 T1-O-5 層理面方位記号に関する日米比較文化論的考察－JIS A 0204批判－. 山北 聡	15:00 R10-O-14 下北半島尾駁沼の堆積物および有孔虫化石に記録された古環境変動. 山田 努 ・箕浦幸治・根本直樹・平野信一

■ MEMO ■

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。太字は代表発表者です。 ※★印は、ハイライトです、本誌 p. (11) を参照。